

令和5年4月10日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

第35回芦屋さくらまつり清掃ボランティア報告書

- 1 日時：説明会 3月25日(土) 13時30分～14時30分
当日 4月2日(日) 8時30分～20時30分
振返り 4月9日(日) 10時～12時
- 2 会場：芦屋川東側道路、リードあしや
- 3 担当：橋野・金子
- 4 参加者：85人(説明会28人、当日40人、振返り17人)
(当日内訳：芦屋大学ボランティア部 Aqua 11人、AC30期5人、青少年センター2人、精道中学校 CGJ 8人、朝日ヶ丘町防災会5人、一般9人)
- 5 事業詳細
 - (1) 目的：学生中心の実行委員会を立ち上げ、ゴミのないクリーンで心地よい祭りの支援を行う。
 - (2) 内容：事前説明会、当日のゴミの回収、啓発活動、終了後の振り返り会を実施
- 6 意見交換
 - ・割れたもの、お酒などの飲み残し状態のビンの収集方法を考える。
 - ・プラスチックのコップが燃えるゴミかペットボトルかを迷う人多数。次回からは文字、絵で記載した方がいい。外国語も必要である。
 - ・運搬用台車を箱型にする。また台車を増やす。
 - ・啓発用ポスターは体にフィットするものにする。英語版も必要である。
 - ・休憩時間が取りにくかった。フリーの人を増やした方がいい。
 - ・ボランティア通用道路が出店者の飲食の場になっていて通れなかった。
 - ・ちょっとした隙にゴミを置いていく出店者もあった。
 - ・川に飲み残しの飲料を捨てる人が目立った。祭り前と後の写真を撮り啓発に役立てるようにする。
 - ・テーブル席の利用方法や、ゴミの啓発をテーブル上に書き記す。
 - ・ゴミ箱に人を配置し啓発を行いながら、ゴミが満杯になったら収集担当に連絡する。こうすることで出店のゴミを断ることが可能となる。
 - ・選挙出馬候補者の車が集積場の前に1日置かれていて運搬の迷惑であった。
 - ・たくさんの感謝の言葉をいただき嬉しかった。
 - ・上記の意見を踏まえ、次回は説明会から徹底する。

7 振り返り：

- ・ 芦屋大学ボランティア部 Aqua を中心とした実行委員会を立ち上げ、何を誰に担ってもらうか等を考え、説明会、当日運営、振り返り会までのサポートを行った。次年度からは今年度を踏まえて自立できることを期待している。
- ・ 多世代が人数的にも交じり合い、助け合いながら活動している姿が微笑ましかった。
- ・ 振り返り会では前向きなたくさんの意見が出た。結束が強まったようだ。

以上

